

平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」 第一四半期 活動報告！！

平成29年4月から生産技術科 黒木 猛教授を中心に、平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」を実施しています。九州職業能力開発大学校では、福岡県を中心とした企業様と装置開発や人材育成に関する様々な共同研究を実施しています。その一環として北九州市在住の企業様と人材育成を目的とした教材開発をしています。

今回の共同研究の主な目的は以下の3点です。

- ① 技能検定に向けた技能習得と「数値制御フライス盤作業1級」の取得。
- ② 技能検定用「指導マニュアル」の教材開発。
- ③ 開発した教材を用いた後輩職員の指導。

この第一四半期では第一点目の目標である「数値制御フライス盤作業1級」の取得を目指して、共同研究のチームで「工程分析」「指導方法の検討」「課題加工」といった実践的な取組を行っています。共同研究を開始してから3ヶ月が経過し、今年度の技能検定を受検する企業側の職員と九州職業能力開発大学校の学生（4年生）の2名については「課題加工」が5組に達し実力を付けつつあります。また、「工程分析」「指導方法の検討」についても黒木教授を中心に課題製作後のミーティングの中、企業側の職員と能開大の職員の熱心な討議で完成度が上がりつつあります。第二四半期につきましても、技能検定合格のための「課題加工」を中心に共同研究を進めます。

（文責 八崎）

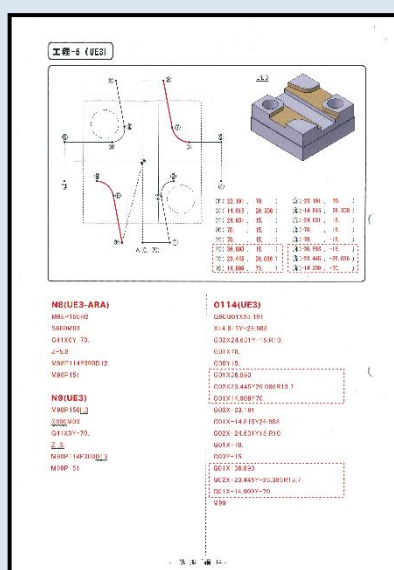
共同研究の名称：企業の教材開発に対する技術支援

共同研究の期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

共同研究のメンバー：大庭英利、黒木猛、楠元智久、福原祥雅、宮崎大和、八崎透



共同研究の精鋭



共同研究のメンバーによる工程分析